

一般国道 336 号 浦幌道路 全線開通

一般国道 336 号は、浦河町から釧路市に至る延長約 150 ㌔の幹線道路で、このうち「浦幌道路」は、十勝郡浦幌町豊北から同町昆布刈石を結び、延長約 12.6 ㌔の事業です。

この度、浦幌町十勝太(とちあつと)から同町昆布刈石までの約 3.2 ㌔が完成し、3 月 16 日(金)正午、浦幌道路が全線開通しました。

これまで、この区間は、幅員が狭く、急カーブ・急勾配が連続し、未舗装区間もあったことから、釧路方面と広尾・日高方面を往来するドライバーは、浦幌町直別から浦幌町豊北まで、一般国道 38 号を経由するのが一般的でした。



しかし、この度の開通により、道道を経由して沿岸部をほぼ直線的に通行することで、距離が約 4 ㌔短縮され、各漁港間のアクセス向上や走行安全性の確保等が図られました。





主催者挨拶する水澤町長

開通当日は、爽やかな晴天に恵まれ、開通区間の起点である浦幌町十勝太において、午前 10 時から記念式典がとりおこなわれました。

会場では、主催者である「十勝海岸線国道建設促進期成会」会長の水澤浦幌町長を始め、行政関係者、経済団体、地元厚内小学校・厚内幼稚園の先生と子供たちなど、約 70 人が参列しました。

水澤町長の挨拶の後、来賓として出席した大内帯広開発建設部長は「本日開通できたのは、地元の皆様や関係者のご支援、ご協力のたまもの。沿線地域はもとより、十勝圏と釧路圏の広域的連携が強化され、物流の効率化を期待したい」と挨拶しました。



来賓挨拶する大内部長

10 時 20 分からテープカットが行われ、入缺には厚内小学校の児童会長も加わるなど、会場は和やかなムードに包まれました。



厚内小学校児童会長の大坂君（写真一番左）はちょっと照れている様子でした。

その後、参列者により記念撮影を行い、間もなく「渡り初め」が始まりました。式典会場から区間終点までの約 25 分間、遠くに見える海や整備された道路などを眺めながら、みな思い思いに、この開通を祝いました。



参列者による渡り初めの様子



工事の状況

浦幌道路事業は、内陸部へのルート変更や地滑り対策など、9年の歳月を経て、この度完了しました。

漁業での経済効果はもちろん、観光振興（昆布刈石展望台・パラグライダー発着場等）や災害時の迂回路としての効果が期待されます。